

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	自己実現型こども育ち塾つきのうさぎ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日 ～ 2024年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日 □ ～ 2024年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	相談支援の充実	・月に少なくとも一回30分以上の時間を取り、じっくり保護者と話しをする時間を設けるようにしている ・利用者様のニードに寄り添って対話を行っている ・直接、じっくりと相談支援を行うことで、支援の方向性のズレを早期に修正し、支援へ生かしている	・グループでの相談支援を取り入れ、保護者間で悩みや疑問、不安を共有共感することができるようにしていく
2	専門性の高さ	・スタッフ全員が国家資格保有者となっている ・スタッフの職種は様々で幅が広いため、強みにでも課題点に対してでも視点が豊富になっている ・アプローチも明確に行うことができる	・スタッフの募集と増員は引き続き続けていく ・スタッフ研修への参加の促進を行う
3	療育内容が充実	・体を使う遊具が充実している ・配置基準よりも多くのスタッフを配置している ・スタッフの職種は様々で幅が広いため、強みにでも課題点に対してでも視点が豊富になっている	・遊具、器具の購入を行っていく ・スタッフのスキル向上を図っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性の内容（療育内容）がうまく伝わっていないことがある	・職員の説明が不足していることがある	・相談の時間で不足分を補い、説明する ・方向性にズレがないか確認する
2	事業所の非常時取り組みの周知徹底がなされていない	・周知徹底の不足が起きている	・SNS・WEB、施設内の掲示にて対応していく
3	地域との連携が少ない	・施設側の人的・時間的環境リソースの確保が難しい	・施設側の環境リソースを強化するよう努力 ・地域への働きかけがうまくいくような地盤を作っていく